

- 水分傾斜 …………… 含水率傾斜と同じ意味です。
- 髓 …………… 樹幹の中心部を占める組織のことで、丸太の断面をみたとき、年輪の中心付近にあります。
- 繊維飽和点 …………… 木材の細胞壁が水素結合や物理的な吸着によって最大量の結合水を含んだ時の含水率で、多くの樹種で25～30%、平均して28%とされています。含水率が繊維飽和点より低くなり、結合水が失われると、木材は収縮を始めます。
- 全乾重量 …………… 木材から水分を取り除いた、木材実質の重さです。
水分を含んだ木材を100～105℃のオーブンで乾かし、重さが変化しなくなった時点の重さを全乾重量とします。JAS「製材の日本農林規格」では、6時間の間隔をおいて重さを測ったとき、重さの変化が0.1%以下であれば変化しなくなったと見なしてよいことになっています。
- せん断力 …………… 材料に外部から力が加わった際、材料の内部にはこれに抵抗する応力が生じますが、材料の断面に垂直に働く力を軸力（圧縮力や引張り力）と呼ぶのに対して、材料の断面に平行に働く力をせん断力と呼びます。なお、木材は異方性材料であるため、軸方向の力に比べてせん断力が極端に小さいことが知られています。
- 【た】**
- 短期基準耐力 …………… 接合部の許容応力度設計における、単独の接合部のせん断耐力に対する設計値です。設計においては、その接合部に生じる応力がこの値を超えないようにします。
- 弾性係数 …………… 材料に応力が加わる際、応力-ひずみ曲線の直線域では、 $\sigma = E \cdot \varepsilon$ のフックの法則が成り立ちます。ここで、 σ は応力、 ε はひずみで、Eを弾性係数、弾性率、ヤング係数、ヤング率などと呼びます。すなわち、材料に荷重を加えると材料は変形しますが、その変形のしやすさ・しにくさを示す物性値のことです。なお、フックの法則はせん断応力 τ とせん断ひずみ γ との間にも $\tau = G \cdot \gamma$ の関係が成り立ち、Gをせん断弾性係数と呼びます。
- ドラインゲット …… 木材は引張りあるいは圧縮の力を受けながら乾燥すると、本来とは異なる収縮量を示します。この乾燥中に加えられた力によって生じる、本来とは異なる収縮変形、またはそのような変形が生じる現象をドラインゲットと呼びます。引張りながら乾燥すれば本来よりも収縮せず、圧縮しながら乾燥すれば大きく収縮します。